

きずな



～人と人とのつながりをもとめて～

秋の収穫「食」の大切さを学びました

古代米の稲刈り(5年生)、もち米の稲刈り(3年生)、芋掘り体験(1, 2, 3年生)

10月12日に5年生が、古代米の稲刈りをしました。田植え、踏み込み、そして、お米の勉強の集大成の稲刈り体験。まず、かどのでもりもり倶楽部の待場さんより、かまの使い方、稲の刈り方を教えていただきました。「だいたい8束を1つにして刈ったら後の作業がしやすくなるよ」とアドバイスをしていただき、「ザク・ザク」といい音が田んぼから鳴りだしました。3年生の時にもち米の稲刈り体験をしていたので、30分かかるといううちに稲を刈る作業ができました。そして、刈った稲を束ねて結び、干す作業に時間がかかりました。



稲を干す様子



稲を結んでいる様子

5年生の感想



稲を刈って干すのが難しいという事が分かりました。こんなに大変な作業だと思わなかったです。学校生活の中で、このような体験ができてうれしいです。

JAの竹知さん



お米の勉強の集大成の稲刈りも、とてもはやく作業ができました。このような経験は人生の中であまりできない事なので、おぼえてほしいです。給食も美味しくありがたく食べてほしいです。

今年もありがとうございました



かどのでもりもり倶楽部の待場さん、三輪さん、本庄さん、JAの皆さん、住友ゴム市島工場の皆さん、西小学び隊の深田さんにお世話になりました。

田植えの準備、踏み込み肥料作り、草刈りに電柵張り、脱穀、乾燥、もみすり作業もありありがとうございました。『もりやま』の葉っぱや笹の肥料や管理のおかげで、いいお米！が収穫できました。販売されるのが楽しみです

3 年生が初めてもち米の稲刈りを体験しました

10月13日



かどの元気村の二森さん、足立正典さん、JAの皆さん、かどのでもりもり倶楽部の待場さん、もち工房さん、他にも多くの皆さんにお世話になり、もち米の稲刈りを体験しました。

「どうやってかまを持ったらいい?」「どこを持って刈ったらいい?」「こんなん、大変や」と、始めは言っていた3年生でしたが、教えてもらいながら刈る作業にすっかり慣れて、「もっと刈りたい」「気持ちいい音がする」と、稲刈りを楽しみました。昔は、稲刈りの日は学校が休みで、大人も子どもも総出で手作業で稲刈りをしたことも知りました。

3 年生の感想

初めての稲刈りは楽しかったです。始めは難しかったけど段々と上手に刈れました。稲を結ぶのも難しかったけどやってみたら楽しくできました。結ぶ時もやさしく教えてもらえました。



結び方を教えてもらっています

JA の竹知さん

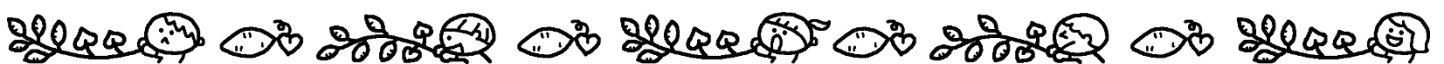
田植えをしてから稲刈りまでの期間にしっかりと管理をしていただいたおかげで、最高の稲の状態で刈る事ができました。このように多くの手がかかっている事を知って、お米一粒も残さず、食べ物も残さないようにしてほしいです。食べ物があることが当たり前と思わずに、感謝して食べてほしいです。

5 年生になったら古代米でお米の勉強をします。手で刈る体験は少ないですが、稲刈りをきっかけに、これからお米作りにかかわってもらえればうれしいです。

3 年生担任の池田先生

大変貴重な体験をさせていただきました。3年生は、葛野地区や、丹波市の魅力について学習しています。お米作りの体験もまとめて、かどの冬まつりにて発表をして感謝の気持ちを伝えたいです。

大人になっても忘れない、貴重な体験をありがとうございました。管理や草刈り、稲刈り後の作業もありがとうございます。



1, 2, 3 年生は芋掘り体験もしました。

このような体験をして「食」について学びました。ありがとうございました。